

2024年度 企業リスクマネジメント研究会活動報告

2025年3月31日

日本電気株式会社 谷口数実

1. 2024年度活動報告
 - 活動概要
 - 全体会の活動報告
 - 分科会の活動報告
 - 議論したテーマ
2. まとめ

1. 2024年度活動報告

- 活動概要
- 全体会の活動報告
- 分科会の活動報告
 - 議論したテーマ

2. まとめ

2024年度活動報告（活動概要）

【研究会概要・方針】

企業におけるリスクマネジメントについて有識者や参加企業の取り組みを基に、自社への適用や提言、企業の枠を超えた取り組みの可能性について研究・情報交換、ディスカッションにより学びを深めます。また共感のうえ刺激を持ち帰り、共に業務の行動や成長の原動力に繋がります。

【研究テーマ】

近年リスクは、目まぐるしく変化し、より一層複雑、深刻に…。

ガバナンス

IT統制(グローバル/グループ会社) IT法規(国内/国際法) 事業継続(BCP/BCM)

人材開発

セキュリティ人材 要員育成・教育訓練

AI DX/クラウド先端事例

AI DXモダナイ クラウドサービスセキュリティリスクと統制

インシデント・事故対策

インシデント・事故事例 個人情報保護対策

昨今、世界のリスクはもの凄い勢いで変化し、社会・経済に多大な影響を及ぼしています。



生成AIの台頭と各国における規制の検討
ロシアによるウクライナ侵攻
米中対立による希少金属・半導体関連技術の輸出規制
中国反スパイ法の改正
EU新データ法案制定の動き
時間外労働の規制強化に伴う物流業界等の「2024年問題」
企業を標的としたサイバー攻撃の増加・・・

2024年度活動報告（活動概要～ご参考～）

リスク管理の重要性の増大

前年度(2023年)の半年間のみで報道されただけでも以下の様なものがあります。

リスクの変化に伴い、企業の経営におけるリスク管理の重要性も増大しています。

社名	時期	事象	要因
富士通(株)	2022年3～11月	情報流出（2023年6月総務省の行政指導を受ける）	サイバー攻撃、セキュリティ管理体制の不備
アステラス製薬(株)	2023年3月	中国反スパイ法違反疑いによる社員の拘束	—
富士通Japan(株)	2023年3～7月	コンビニ端末での証明書誤交付、同トラブルの再発	品質管理マネジメントの不備 システム点検の不備
京セラ(株)	2023年4月	決算発表の延期	子会社へのサイバー攻撃
エーザイ(株)	2023年6月	会社サーバーの暗号化被害	ランサムウェア攻撃
いすゞ自動車(株)	2023年7月	ロシアからの事業撤退	地政学リスクによる事業継続困難化
損保ジャパン(株)	2023年9月	ビッグモーター社の不正事案に関する行政による立ち入り検査、社長の引責辞任	ビッグモーター社の不正疑惑を看過し、取引を再開

リスクの変化・顕在化したリスクへの対応次第によっては、企業が大きな損害を被ることに繋がります。

2024年度活動報告（活動概要）

対象者

初心者・経験者・年齢・性別・職種を問わず

情報セキュリティ/リスクマネジメントについて関心が高い方

関連情報の収集や社外人脈を広げたいとお考えの方

自由に意見・情報交換できるコミュニティ

24年度参加者

52名の仲間にご参加いただきました。

・新規入会メンバー 22名

・継続・経験メンバー 30名

製造、食品、電力、交通、保険、金融、人材、物流、建設、ITなどの情報シス部門、情報シス子会社等、多様な「個性」に参集いただきました。

リスクマネジメントの研究①(独自ルール)

当研究会では、『チャタムハウスルール=鉄の掟』を遵守

- 研究会・会議で得られた内容は利用できますが、情報の発信者やその他の参加者の身元および所属に関しては秘匿します。
- 『チャタムハウスルール=鉄の掟』の遵守により、リアルなリスクの共有と 自由な意見の発信ができ、円滑&活発なディスカッションができます。

“ Chatham House Rule ” ?

王立国際問題研究所(イギリス)に源を発する、会議参加者の行為規範

当該会議で得られた情報を利用できるが、その情報の発言者やその他の参加者の身元および所属に関して秘匿する(明示的にも黙示的にも明かにしない)義務を負うというルール。(出典：Wikipedia)

“When a meeting, or part thereof, is held under the Chatham House Rule, participants are free to use the information received, but neither the identity nor the affiliation of the speaker (s) , nor that of any other participant, may be revealed

リスクマネジメントの研究②(研究手法)

■ 方法1：リアルなリスク共有

- ・ 実際に発生した(可能性が高い)リスク、実施した対策を共有する。
- ・ 今直面している問題、検討している対策・対処方法を共有する。

■ 方法2：実施したリスク対策の深掘り検証（分科会でのディスカッション）

- ・ もっと最適な方法はあるのだろうか？
- ・ こんな対応はどうでしょうか？
- ・ このような対応をしたことがあります・・

■ 方法3：有識者による講演と研究会全体メンバー間での情報交換

- ・ 有識者の知見の共有
- ・ 様々な経験を持つメンバーの知見の共有

2024年度活動報告（幹事団）

全体 運営

部会長 谷口数実（日本電気株式会社）
副部部会長 奥村秀樹（株式会社IHI）
糀原晃紀（インテル株式会社）
長井一広（不二サッシ株式会社）
坂靖史（株式会社JALインフォテック）

分科会 運営

分科会A 分科会長 坂本様（麒麟ビジネスシステム株式会社）
副分科会長 谷口（日本電気株式会社）
分科会B 分科会長 戸村様（丸文株式会社）
副分科会長 藤田様（ENEOS株式会社）
分科会C 分科会長 本池様（日本生活協同組合連合会）
副分科会長 松尾様（コクヨ株式会社）
分科会J 分科会長 坂様（株式会社JALインフォテック）
副分科会長 澤田様（株式会社東レシステムセンター）

2024年度活動報告（年間活動）

日程		研究会	場所	時間	Agenda
5月31日	金	第1回定例会	JUAS会議室	15:30~17:30	研究会方針・自己紹介
6月~7月		分科会のみ開催	各社会議室	分科会長/副分科会長にて調整&主催	
8月2日~3日	金・土	第2回定例会(合宿)	プラサヴェルデ沼津	8月2日 12:30開場予定	・ゲスト講演 ・分科会開催
9月4日~5日	水・木	JUASスクエア	新宿	終日開催	
9月18日	水	第3回定例会	JUAS会議室	分科会 13:00~15:20 全体会 15:30~17:30	・ゲスト講演 ・分科会事例発表 ・分科会活動内容紹介
10月		分科会のみ開催	各社会議室	分科会長/副分科会長にて調整&主催	
11月6日	水	第4回定例会	JUAS会議室	分科会 13:00~15:20 全体会 15:30~17:30	・ゲスト講演 ・分科会事例発表 ・分科会活動内容紹介
12月		分科会のみ開催	各社会議室	分科会長/副分科会長にて調整&主催	
1月23日	木	第5回定例会	JUAS会議室	分科会 13:00~15:20 全体会 15:30~17:30	・ゲスト講演 ・分科会事例発表 ・分科会活動内容紹介
2月		分科会のみ開催	各社会議室	分科会長/副分科会長にて調整&主催	
3月19日	水	第6回定例会	JUAS会議室	分科会 13:00~15:20 全体会 15:30~17:30	・活動の振り返り ・分科会事例発表 ・分科会活動結果発表

リスクマネジメント研究活動実績

- 参加者51名（入門者からベテランまで）多様な個性を尊重し合い、
中立かつ公平に自由な本音の意見交換、活発な議論を深めました。
- 様々な視点（業種、業務、世代）が互いに尊重しながら議論を深めることにより
根本課題やあるべき姿など刺激を所属組織での行動や成長に繋げる様、
各自、各社の知見やノウハウを持ち帰っていただいております。

1. 2024年度活動報告

- 活動概要
- 全体会の活動報告
- 分科会の活動報告
 - 議論したテーマ

2. まとめ

2024年度活動報告（全体会活動）

ゲスト講演

日程	ご講演者	ご講演テーマ	ご講演内容
8月2日 【沼津合宿】	読売新聞東京本社 新井様 (研究会0G)	企業リスクマネジメント研究会 で学んだこと得られたこと	・活動記録 ・活動を通じた学び ~3つの柱~
8月3日 【沼津合宿】	サイバー研究所 石橋様 (研究会0B)	2024年 企業が意識したガバナンス/ セキュリティ分野の動向	・2025年問題からのIT部門動向、働き方改革 ・マイクロセグメンテーション ・セキュリティライセンス製品の購入・利用率
8月3日 【沼津合宿】	SOPMO HD株式会社 岡田様 (研究会0G)	SOMP0ホールディングスの サイバーの取り組み	・攻撃から国内外グループ会社を守るための対策 ・ホールディングスCSIRT長としての平時有事取り組み ・サイバーパトロール、ラボ、人材育成取り組み 等
9月18日	有限会社ニーズ 牛島様 ANAシステムズ 高瀬様 (研究会0B)	心理的安全性の実践 ITサービスの品質向上取り組み 一流の聴き方から考える	・JUAS拡大アカデミー併催（ライブ配信） ・安全文化の醸成とアサーションの実践 ・Being として聴く
11月6日	テクマトリックス株式会社 所長 佐山様	Black Hat USA 2024で得た最新 のセキュリティ脅威とトレンド	・世界最大セキュリティカンファレンス。 ・世界中のセキュリティエンジニアが参加。 ・最新のセキュリティ脅威や技術のトレンドを紹介
1月23日	IPAセキュリティセンター 啓蒙啓発グループ 江島様	企業リスクマネジメントと サイバーセキュリティ 経営ガイドライン	・深刻化するサイバー攻撃の脅威 経営へのインパクト ・サイバーセキュリティ経営ガイドラインの改訂 ・対策支援ツールの紹介

2024年度活動報告（全体会活動）

各分科会 代表事例紹介

日程	ご発表者	ご発表内容
9月18日	分科会A代表: 江本様	インシデント事例・対応紹介 サイバーセキュリティBCP
11月6日	分科会B代表: 田中様	インシデント事例・対応紹介 教訓含む
1月23日	分科会C代表: 伊東様	インシデント事例・対応紹介 サプライチェーンインシデント事故 教訓含む
3月19日	分科会J代表: 高橋様	インシデント事例・対応紹介 通信障害・インシデント事故 教訓含む

1. 2024年度活動報告

- 活動概要
- 全体会の活動報告
- 分科会の活動報告
 - 議論したテーマ

2. まとめ

2024年度活動報告（分科会の活動）

2024年度 分科会編成

分科会	研究テーマ	人数	分科会長	副分科会長
A	【ガバナンス】IT統制(グループ会社/グローバル含む) IT法規(国内/国際法)、事業継続(BCP/BCM)	15	坂本	谷口
B	【人材開発】セキュリティ人材・要員育成・教育、訓練	10	戸村	藤田
C	【AI DX/クラウド先端事例】AI・DX/モダナイ、 クラウドサービス等のセキュリティリスクと統制(基準・対策)	11	本池	松尾
J	【インシデント・事故対策】インシデント・事件事例 個人情報保護対策	15	坂	澤田

募集時アンケート時
「研究したい・興味があるテーマ」
第1希望(一部に第2希望)にて編成しています

分科会運営ポリシー

- 研究会全体会開催のない月に分科会のみを開催（計4回）
- 各分科会長/副分科会長中心に主催分科会の自主的運営を基本として調整
- 毎回1～2名がテーマを担当（事前準備）
担当者は、自己経験等紹介、取り組み事例、直面する悩み・課題などを相談
- 1Hで1テーマ完結（万が一欠席した場合でも次回参加しやすくする為）
深掘りする場合は別途開催。各自の宿題は無し。
- 全員が発言、ディスカッションに参加
チャタムハウスルール・安心環境を用意のうえ、自由な発言と議論を促進する。
他者の発言を否定せず、メンバー間で積極的に受けとめる姿勢を醸成する。
- メンバー間で他の分科会間の横断参加、積極的スポット参加を促進
興味のあるテーマ参加。研究会内の人的交流を活性化

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会A(15名)

- 分科会長： 坂本様（麒麟ビジネスシステム株式会社）
副分科会長： 谷口（日本電気株式会社）

- 主要テーマ： 【ガバナンス】
IT統制（グローバル/グループ会社） IT法規（国内/国際法） 事業継続（BCP/BCM）

【参加企業】

麒麟ビジネスシステム株式会社、日本電気株式会社、株式会社ニッスイ
株式会社テプコシステムズ、株式会社エイジス、東日本旅客鉄道株式会社
前田建設工業株式会社、コニカミノルタ株式会社、株式会社NTTデータMHIシステムズ
京セラ株式会社、新電元工業株式会社、株式会社JALインフォテック
株式会社野村総合研究所、パーソルキャリア株式会社、帝人株式会社

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会A(15名)主な発表・議論のテーマ

テーマ	カテゴリ
自社のドメインの管理運用について	ガバナンス・セキュリティ対策
実行性のあるポリシーについて	ガバナンス
関係会社(特に海外)のIT環境についてor攻撃メール訓練と、事故通報	インシデント事例・訓練
グループ全体でのシステム監査の実施手順に関する具体的な方法について	ガバナンス
自社のセキュリティ対策状況とグローバルガバナンスについて	ガバナンス
首都直下地震を想定したBCP対策	災害対策(BCP/BCM)
サイバーBCP策定項目について	ガバナンス、BCP/BCM
クラウドストレージの外部招待管理について	セキュリティ対策、その他
自社におけるセキュリティ～現状分析と今後の方向性～	ガバナンス
セキュリティ事故後のパートナー管理	ガバナンス、インシデント訓練
セキュリティガバナンスに関わる法律規程について	ガバナンス、IT法規
自社グループでのグローバルガバナンス強化に向けた活動について	ガバナンス
外部記憶媒体の利用制限・ルールの見直し	ガバナンス、人材育成訓練
グループガバナンスの再構築について	ガバナンス
自社DXデータドリブン経営とAIサイバー攻撃に対するAI防御対策事例紹介	ガバナンス、AI、DXモダナイ

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会B(10名)

- 分科会長： 戸村様（丸文株式会社）
副分科会長： 藤田様（ENEOS株式会社）

- 主要テーマ：【人材開発】
セキュリティ人材・要員育成・教育、訓練

【参加企業】

丸文株式会社、 ENEOS株式会社、 コープ情報システム株式会社
株式会社ニチレイ、 第一三共株式会社、 エス・エー・エス株式会社
日揮ホールディングス株式会社、 株式会社大同ITソリューションズ
株式会社カシマアイシーティ、 株式会社中電シーティーアイ

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会B(10名)主な発表・議論のテーマ

テーマ	カテゴリ
自社グループにおける情報セキュリティ教育について	セキュリティ教育
自社におけるサイバーセキュリティ対策	セキュリティ対策
セキュリティ監視・保守業務での新規入場者教育	インシデント教育
インシデント初期対応訓練の取り組み	インシデント訓練
セキュリティ人材育成	人材育成・開発
自社のITセキュリティガバナンス	ガバナンス
標的型攻撃メール訓練	人材育成・開発
ITアンバサダー（非IT人材）の活用と教育	セキュリティ教育
SOCアナリストの教養	スキル
弊社で行っている社員向けのセキュリティインシデント発生時のハンドリング訓練について	インシデント訓練
弊社のリスクマネジメント状況	人材育成・開発
セキュリティ施策と要員教育	セキュリティ教育
EDR展開に伴う連絡体制整備	ガバナンス
こんな社内公募はイヤだ！～非IT・事業部門からセキュリティへジョブチェンジした経験から～	人材育成・開発
FY2024の取り組み成果報告（日本事業編）～JUASでの学びを活かしました～	その他
メール誤送信防止に対する取り組み	インシデント訓練
取引先セキュリティアンケートから見える各社のセキュリティ状況	サプライチェーンリスク

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会C(11名)

- 分科会長： 本池様（日本生活協同組合連合会）
副分科会長： 松尾様（コクヨ株式会社）

- 主要テーマ：【AI・DX/クラウド先端事例】
AI・DX モダナイ、クラウドサービス等のセキュリティリスクと統制(基準・対策)

【参加企業】

日本生活協同組合、コクヨ株式会社、インテル株式会社、
不二サッシ株式会社、スズキ株式会社、SOMPOひまわり生命保険株式会社
JFEシステムズ株式会社、IIMヒューマン・ソリューション株式会社
SOMPOシステムズ株式会社、ニュータニックス・ジャパン合同会社
株式会社かんぽ生命保険

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会C(11名)主な発表・議論のテーマ

テーマ	カテゴリ
自社DXデータドリブン経営とAIサイバー攻撃に対するAI防御対策事例紹介	ガバナンス、AI、DXモダナイ
生成AI利用とGitHub利用におけるリスク	AI、クラウドリスク対策
生成AI利用ガイドラインの紹介	AI、クラウドリスク対策, ガバナンス
全盛ITモダナイゼーション構築に向けて	DXモダナイ
クラウドサービスの利用管理	クラウドリスク対策, ガバナンス
AI利用におけるベンダーロックインとサプライチェーンリスクをどう考えるか	AI、サプライチェーンリスク
セキュリティ診断の取り組み紹介とこれからの課題	ガバナンス
生成AIの利用ガイドライン	AI、クラウドリスク対策, ガバナンス
メーカー企業の内製開発ための環境構築相談	スキル、その他
ハイブリッドマルチクラウドの動向について	クラウドリスク対策
クラウドサービスの利用管理の課題について	クラウドリスク対策, ガバナンス
伊東さんの全体発表の後半部「その後の対策について」	サプライチェーンリスク

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会J(15名)

- 分科会長： 坂様（株式会社JALインフォテック）
副分科会長： 澤田様（株式会社東レシステムセンター）

- 主要テーマ： 【インシデント・事故対策】
インシデント・事件事例 個人情報保護対策

【参加企業】

株式会社JALインフォテック、株式会社東レシステムセンター、株式会社IHI
日商エレクトロニクス株式会社、JFEスチール株式会社、鹿島建設株式会社
NOK株式会社、イオン株式会社、森永乳業株式会社
日本ハムシステムソリューションズ株式会社、株式会社富士薬品、
インフォテック株式会社、かんぼシステムソリューションズ株式会社、
ニッセイ情報テクノロジー株式会社、オリックス・システム株式会社

2024年度活動報告（分科会の活動）

分科会J(15名)主な発表・議論のテーマ

テーマ	カテゴリ
インシデント紹介	インシデント事例
ドメイン管理	ガバナンス・セキュリティ対策
セキュリティ体制・対策	セキュリティ対策
インシデント紹介、対策	インシデント事例・セキュリティ対策
ダークウェブ関連+α	インシデント事例・セキュリティ対策
インシデント紹介、対策	インシデント事例・セキュリティ対策・ガバナンス
セキュリティ体制・対策	インシデント事例・セキュリティ対策
グループ会社へのガバナンス	ガバナンス
DMARC対応の進め方	ガバナンス・セキュリティ対策
セキュリティガイドライン	ガバナンス
中国のデータセキュリティ法に対する対応	ガバナンス・セキュリティ対策・IT法規
標的型メール訓練	セキュリティ教育・訓練
インシデント対応	インシデント事例
セキュリティ教育（社員）	人材育成・開発
保険会社のWebアプリケーションにおける脆弱性診断とインシデント事例	インシデント事例

2024年度活動報告（分科会の活動）

各分科会の共通的な議論として今年度傾向は以下の課題が特長的でした①

■ アセスメントシート・チェックリスト等の肥大化

社内・グループ会社向けアセスメントシート・チェックリストが年々肥大化・複雑化しており、管理効率の低下やリスクの見落としにつながり、シンプル化の議論が活発化しました。

■ ルール・ポリシー・ガイドライン等の形骸化

社内・グループ会社向けセキュリティルール・ポリシー・ガイドライン等が形骸化しており、陳腐化や浸透不足、運用困難など議論がありました。明確化と具体化、周知徹底方法の工夫（サイネージやIT活用）、アウェアネス等抜本的な改革の提言がありました。

■ サプライチェーンリスクへの対応

外部サプライヤーやパートナーが抱えるセキュリティ脆弱性リスクが多く話題となりました。複雑なサプライチェーン構造の可視性欠如や、サイバー攻撃の増加、規制遵守の困難性など課題が多く、サプライヤーリスク評価や契約要件明確化、可視化や監視、更には連携強化など議論となりました。

2024年度活動報告（分科会の活動）

各分科会の共通的な議論として今年度傾向は以下の課題が特長的でした②

DMARC対応の進め方

DMARC導入を進めるうえで、設定の複雑さや正当メールの誤判定、メールシステム管理者、マーケティング・営業部門等メール利用者等への合意形成や連携困難など課題がありました。段階的な導入や連携強化、定期的な見落とし改善など運用方法について議論の言及がありました。

ドメイン管理の対策

近年、多数ドメインが乱立することにより管理が煩雑となり、ポリシー適応や監視が困難でサイバー攻撃の標的になりやすく、のっとりやフィッシング詐欺によるブランドイメージ毀損など課題がありました。ドメイン管理の監視体制・外部委託、商標登録、係争など議論の言及がありました。

個人情報保護規制（EUのGDPR等）やAI新法への対応

EUのGDPR（一般データ保護規則）やAI新法は日本企業に新たな対応課題となっている。データの越境移転やデータ主体の権利に適切に安全管理措置する必要に迫られている。その制裁金は某社では最新航空機購入可能なほどとの議論、AIガードレールなどの言及がありました。

2024年度活動報告（その他 合宿）

【沼津合宿】50名を超える仲間にご参加いただきました。

企業リスク研究会 合宿予定スケジュール

※現地(沼津)とのハイブリッド開催はありません。

<1日目 8/2(金)> (途中レイアウト変更 教室→分科会形式)

研究会スケジュール	JUAS事務局情報
12:30 開場	開場
13:00 事務連絡(幹事団/事務局)	グループ討議1
13:15	402
13:15 オープニング講演 新井信乃様	402
14:00 レイアウト変更(椅子撤収) 会議室分散・移動・休憩	
14:15 分科会(適宜休憩) 3~4テーマ	402 401
17:45	※30分程度中断のうえ、写真撮影(15:15頃)
18:00 JUAS食事交流会	食事交流会(立食、会場:3階コンベンションホールB) ・各研究会部会長からのご挨拶 ・研究会抗ゲーム大会
19:30 レイアウト変更(分科会→教室) かたづけ等	グループ討議2 ※21時施設、討議2の開催は任意
19:50	402 401
19:50 ホテル移動・休憩 懇親会場移動	
20:30 有志懇親会 海鮮居酒屋 はなの舞 沼津駅BiVi沼津店	
22:30予定	

各分科会終了次第、交流会会場に移動

<2日目 8/3(土)> (終日 教室形式 レイアウト変更無し)

研究会スケジュール	JUAS事務局情報
06:30 朝食	朝食(朝食会場は宿泊ホテル毎、各自でお取りください)
09:00 事務連絡(幹事団/事務局)	402
09:10 ゲスト講演1 石橋正彦様	402
10:10 休憩	※チェックアウトをお済ませになり、討議室へご集合ください。
10:15 ゲスト講演2 岡田博子様	402
11:15 休憩	※お荷物は、ホテルクロークにお預けになるか、討議室にお持ちください。
11:20 各分科会報告 (分科会長各~8分)	402
11:55 事務連絡(幹事団/事務局)	研究会ごと片付け、解散
12:00 解散・かたづけ	※会議室は、スクール形式での返却が必要です。 皆様のご協力をお願いいたします。

研究会Internal Use Only

沼津合宿 オープニング講演

研究会Internal Use Only

8/2(金)

■8月2日(金曜) 13:15-14:00
▼読売新聞東京本社制作局新聞制作管理センター輸送企画部 新井信乃(あらいしの) 新聞社の技術総合職(現在はメディアエンジニア職)として採用され、新聞を作るシステムや工場での新聞を印刷するシステムや機器の導入に従事した。21年からは企画部門に異動となり工場建設や更新工事、23年からは輸送企画部に異動となり昨今のドライバー不足による新聞輸送の最適化や事業継続計画の輸送ルートの構築などを担っている。

▼講演 「JUAS研究会の活動を通じて学んだこと・得られたこと」

▼概要
2022年から2年間、企業リスク研究会に参加させていただき、多様なリスクとリスクに立ち向かう皆様の取り組みを学ばせていただき、テクニカルな知識だけでなく、仕事のマインドセットやコミュニケーションの方法、困りごと全般を相談できるような人脈を築くことができました。その学びをご報告するとともに、このJUASの活動がどのように業務に生かされたかをご説明したいと思います。



お気づきになった方もいると思います。昨年夏最終日の分科会 速享真よりのことです。

沼津合宿 講演

研究会Internal Use Only

8/3(土)

■8月3日(土曜) 9:10-10:10
▼サイバー研究所 石橋正彦(いしばし まさひこ) ペリポイント(現PwC)においてセキュリティ監査人/ベンチマークに従事。その後、ガートナーにてセキュリティ、BCP/DRのリーサー業務に従事。JUASでは企業リスクマネジメント研究会に12年在籍し、その後、講師を7年に選り実施中。現在ではコンサルファーム、テイルパートに所属

▼講演 題名『2024年企業が意識したいガバナンス/セキュリティ分野の動向』
▼概要 『企業では、目まぐるしい勢いでルール/体制/ゴールなどが変わって来ています。過去、中期経営計画で目標を立てた「DX(6年経過)/ゼトラスト(14年経過)」など既に価格帯の変動などがあり、当時は最先端だったものが、コモディティ化して来ているものもあります。本セッションでは、ガバナンス面として、2025年問題からのIT部門体制の動向、2024年6月制定された新しい育休制度とIT部門の働き方改革。セキュリティ面では、「マイクロセグメンテーション」(被審局所化テクノロジー)などを解説します。中盤では、2021年より3年実施しました、企業リスクの動向で10問のアンケート※を実施します。』



■8月3日(土曜) 10:15-11:15
▼SOMPOホールディングス株式会社IT企画部 岡田博子(おかだ ひろこ) グローバルの保険会社で情報セキュリティ、危機管理のマネージャとして従事した後、現在はSOMPOホールディングスのCSIRT長として国内外のグループ会社に対する、インシデントレスポンス、脅威インテリジェンス、SOC、教育啓蒙、カルチャ変革など包括的なサイバーセキュリティの活動に従事している。

▼講演 題名 『SOMPOホールディングスのサイバーの取り組み』
▼概要
SOMPOホールディングスがサイバー攻撃から国内外のグループ会社を守るために取り組む対策をご紹介します。当社独自の取り組みである警戒すべき脅威に対する可視性を確保するサイバーパトロールを中心に、平時と有事対応、SOMPOサイバーラボ、人材育成などを事例を交えながらお話しします。



Copyright (C) 2023 JUAS All rights reserved

2024年度活動報告（その他 現地視察研究）

【現地視察：北海道 11月15日】30名弱名の仲間にご参加いただきました。
国内18社32施設のAI(LLM)対応データセンター、その最新施設(再エネ100%)の視察実施

京セラ ゼロエミッション(再エネ100%)・データセンター【今秋開業】

データセンターが立地する道内9市

洋上風力発電 釧路湾(石狩市沖)
北海道(札幌)緑地のエリア
旭川市 北見市
石狩市 美幌市
札幌市 苫小牧市
帯広市
つピダスが次世代半導体工場を建設(千歳市)
国際海底ケーブル接続構想(苫小牧市)
道庁、計画を含む、自治体別の立地条件は非公表

地域再生電源
太陽光 風力 木質バイオマス
自家発電設備
太陽光 1.8MW
蓄電池 6MWh

電力需給制御
再エネ100%データセンター
企業 官公庁・自治体
データ国内分散保管・脱炭素化
開設時 2~3MW/400ラック規模

「風化、約2000ラックを展開」
Hot Net(札幌市) 2017~
北海道外敷を活用した札幌で最大規模のデータセンター(900ラック)
京セラコミュニケーションシステム(石狩市) 計画中
再生可能エネルギーと蓄電池を活用したデータセンター
2024.12.15開業
2025.3.31稼働
2025.4.1稼働
電力供給を確保

・今秋に開業予定「ゼロエミッション・データセンター(ZED)」100%再生可能エネルギー電力供給について、国内において昨今、特に北海道に割拠開業しているDCとの違いについて現地視察を行う。
・京セラ独自技術によるソーラーパネル、フィジカルセキュリティ等、現地見学・体験。
・「南海トラフ」や「首都直下」など広域震災を考慮のうえ、DRサイトとして北海道の適地であるか等可能性を考察。

日ハム エスコンフィールド北海道(災害対策・食料自給リスク等)

最新の防災・備蓄拠点・応急給水拠点(1万人/3日間)供給の取り組みについて現地視察を行う。
・クボタ・アグリフロント見学にて、普段は会話となりにくい「食料自給リスク・フードバリューチェーン課題」の観点についても知見を広げる。

2024年度活動報告（その他 現地視察研究）

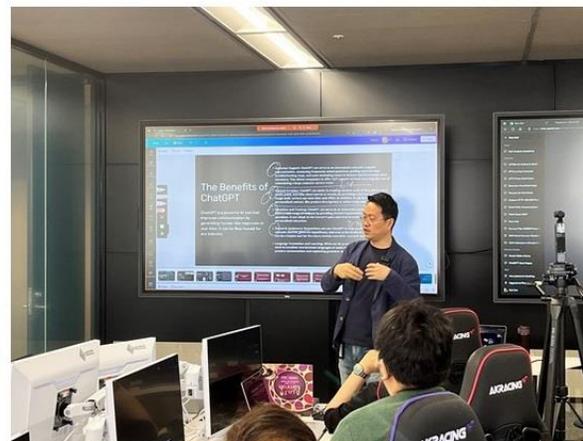
【SOMPOサイバーラボ見学 2月5日】18名の仲間にて訪問させていただきました
SOMPOホールディングスCSIRT長 岡田様(OG) と責任者の方にご案内いただき、
レッドチーム、ブルーチーム等の対応体制、監視制御システム等を見学と共にご説明いただき
ディスカッションのうえ理解を深めました。



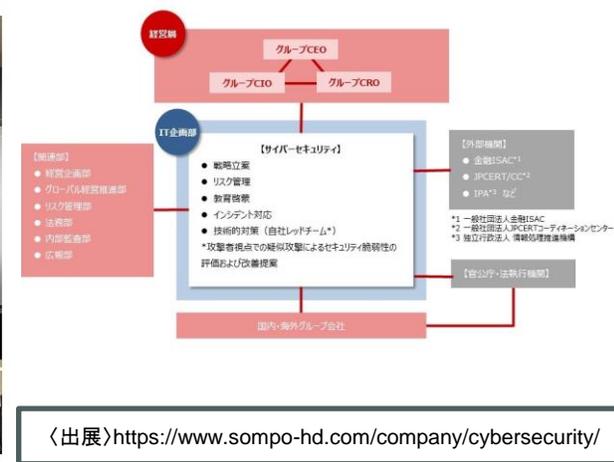
新宿本社に設置されたサイバーラボ



SOC(Security Operation Center) チームによる監視業務



サイバーラボで行われる「Cyber Tech Talk」の様



1. 2024年度活動報告
 - 活動概要
 - 全体会の活動報告
 - 分科会の活動報告
 - 議論したテーマ
2. まとめ

2024年度の振り返り（メンバーの意見）

- 全体的に「満足/概ね満足」の参加者評価をいただきました。
- 実際の事例、対策が共有できて効果的であった。想定以上の情報を得られた。
- 様々な業種、様々な年代の方との交流ができて良かった。
- 初参加でしたが、情報交換がスムーズにできた。
- 宿題がなくて（ノルマ・負担が少なくて）良かった
- 北海道や新宿の施設見学は刺激がありよかった。
- 合宿の会議室が手狭なため、他の分科会と声がまざり聞きとりにくい。
- チャット系ツールの導入により、よりコミュニケーションを活性化したい。
- 他の分科会へもっと参加したかった。

企業リスクマネジメント研究会の歴史

2006年度(リスクマネジメント研究会) ~ 2024年度(企業リスクマネジメント研究会)

2006年 当初は日本版SOX法への対応を中心とした参加企業相互による情報交換より始まりその後、東日本震災後BCP/BCMの反省や改善、プライバシーマークやCSIRT普及更には世界的パンデミック経験の反省や改善など、今後のカントリーリスク、マルチクラウド・AIのリスク等世の中の激しい変化の中で活発な議論を通じて「あるべき姿」を積極的に継承し続けるコミュニティでありました。

2024年度完了 そしてこの春、幕を閉じます。

JUAS研究会再編に伴い、当研究会は2024年度にて終了します。

リスクは技術革新、グローバル化、規制の変化など関連し合い、近年より一層、多様化・複雑化しています。サイバーセキュリティリスクはもちろん、サプライチェーンリスク、気候変動リスクなどもビジネスにとって更に影響高まる可能性があります。新研究会にテーマ引き継ぎいたします。

次年度以降、新研究会にて参画される方のご活躍、益々のご発展をお祈りいたします。

まとめ

- ご参加並びに協力いただいたメンバーの皆さま
- 研究会運営、分科会運営を積極リードしていただいた幹事団の皆さま
- 運営を暖かくご支援いただいたJUASスタッフの皆さま

1年間...。18年間...！
ありがとうございました！



それから...

私たちに研究会への参加機会を与えてご支援いただきました
所属企業の関係者の皆さま、ありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました